

平成20年10月22日

各位

上場会社名 タツタ電線株式会社  
 代表者 代表取締役社長 藤江 修也  
 (コード番号 5809)  
 問合せ先責任者 取締役 総務部経理・財務担当部長 松本 一郎  
 (TEL 06-6721-3011)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年4月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	27,000	1,200	1,250	700
今回発表予想(B)	26,170	1,360	1,420	880
増減額(B-A)	△830	160	170	180
増減率(%)	△3.1	13.3	13.6	25.7
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	24,273	1,036	1,104	701

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	57,000	2,600	2,650	1,600
今回発表予想(B)	49,000	2,400	2,450	1,500
増減額(B-A)	△8,000	△200	△200	△100
増減率(%)	△14.0	△7.7	△7.5	△6.3
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	50,887	2,396	2,492	2,201

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	21,000	350	750	550
今回発表予想(B)	20,270	220	620	560
増減額(B-A)	△730	△130	△130	10
増減率(%)	△3.5	△37.1	△17.3	1.8
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	20,639	220	511	398

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	45,000	850	1,250	850
今回発表予想(B)	38,000	450	850	700
増減額(B-A)	△7,000	△400	△400	△150
増減率(%)	△15.6	△47.1	△32.0	△17.6
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	43,028	531	831	1,250

## 修正の理由

(1)第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

連結業績は、売上高は、銅電線の減販を主因に当初見通し比減収となる見込みであります。利益面では、銅価急落による銅評価損の発生が見込まれますが、子会社の導電ペースト関連製品の伸長により、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも当初見通しを上回る見込みであります。

個別ベースでは、建築基準法改正の影響による建設・電販部門の需要の伸び悩みに加え、第2四半期末における銅価急落による銅評価損の発生が見込まれることにより営業利益、経常利益は、当初見通しを下回る見込みであります。個別当期利益は、法人税負担減により、ほぼ当初見通しとなる見込みであります。

(2)通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

連結及び個別業績は、売上高は、銅価下落及び建設・電販部門向け電線・ケーブルの減販を主因に当初見通し比減収となる見込みであります。利益面では、第3四半期以降は、子会社の導電ペースト関連製品の需要が季節要因により減少することや、銅価急落による建設・電販市況の悪化及び銅評価損の発生が今後も見込まれることにより、営業利益、経常利益、当期純利益はいずれも当初見通しを下回る見込みであります。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上